

【第1部】(Q1~Q25)

- Q1. ▶ 答え：ア 「之」は連体修飾の「の」(A之B=AのB)。書き下し「王の臣」=王の家臣。
- Q2. ▶ 答え：ア 「之」は連体修飾の「の」(A之B=AのB)。書き下し「学問の道」=学問の道。
- Q3. ▶ 答え：ア 「之」は連体修飾の「の」(A之B=AのB)。書き下し「君子の徳」=君子の徳。
- Q4. ▶ 答え：ア 「之」は連体修飾の「の」(A之B=AのB)。書き下し「父母の恩」=父母の恩。
- Q5. ▶ 答え：ア 「之」は連体修飾の「の」(A之B=AのB)。書き下し「天下の宝」=天下の宝。
- Q6. ▶ 答え：イ 「之」は代名詞「これ」(之を…)。書き下し「之を知る」=これを知る。
- Q7. ▶ 答え：イ 「之」は代名詞「これ」(之を…)。書き下し「之を取る」=これを取る。
- Q8. ▶ 答え：イ 「之」は代名詞「これ」(之を…)。書き下し「之を愛す」=これを愛する。
- Q9. ▶ 答え：イ 「之」は代名詞「これ」(之を…)。書き下し「之を求む」=これを求める。
- Q10. ▶ 答え：イ 「之」は代名詞「これ」(之を…)。書き下し「之を養ふ」=これを養う。
- Q11. ▶ 答え：ウ 「之」は主語・述語の間(訳さない・「が」)。書き下し「鳥の飛ぶ」=鳥が飛ぶ。
- Q12. ▶ 答え：ウ 「之」は主語・述語の間(訳さない・「が」)。書き下し「民の帰する」=民が従う。
- Q13. ▶ 答え：ウ 「之」は主語・述語の間(訳さない・「が」)。書き下し「水の流るる」=水が流れる。
- Q14. ▶ 答え：ウ 「之」は主語・述語の間(訳さない・「が」)。書き下し「天の高き」=天が高いこと。
- Q15. ▶ 答え：エ 「之」は動詞「ゆく(行く)」。書き下し「齊に之く」=齊の国へ行く。
- Q16. ▶ 答え：エ 「之」は動詞「ゆく(行く)」。書き下し「楚に之く」=楚の国へ行く。
- Q17. ▶ 答え：エ 「之」は動詞「ゆく(行く)」。書き下し「牛何くにか之く」=牛はどこへ行くのか。
- Q18. ▶ 答え：ア 「也」は断定の「なり」。書き下し「是れ君子なり」=これは君子だ。
- Q19. ▶ 答え：ア 「也」は断定の「なり」。書き下し「仁は人の心なり」=仁は人の心だ。
- Q20. ▶ 答え：ア 「也」は断定の「なり」。書き下し「是れ吾が罪なり」=これは私の罪だ。
- Q21. ▶ 答え：ア 「也」は断定の「なり」。書き下し「兵は凶器なり」=武器は不吉な道具だ。
- Q22. ▶ 答え：イ 「也」は疑問・反語の「や・か」。書き下し「子何をか為すや」=あなたは何をするのか。
- Q23. ▶ 答え：イ 「也」は疑問・反語の「や・か」。書き下し「是れ誰の過ちや」=これは誰の過ちか。
- Q24. ▶ 答え：イ 「也」は疑問・反語の「や・か」。書き下し「何ぞ遅きや」=どうして遅いのか。
- Q25. ▶ 答え：ア 「与」は並列の「と」(AとB)。書き下し「我と汝と」=私とあなた。
- Q26. ▶ 答え：ア 「与」は並列の「と」(AとB)。書き下し「父と子と」=父と子。
- Q27. ▶ 答え：ア 「与」は並列の「と」(AとB)。書き下し「礼と楽と」=礼儀と音楽。
- Q28. ▶ 答え：イ 「与」は動詞「与ふ(あたえる)」。書き下し「之に金を与ふ」=彼に金を与える。
- Q29. ▶ 答え：イ 「与」は動詞「与ふ(あたえる)」。書き下し「民に与ふ」=民に与える。
- Q30. ▶ 答え：イ 「与」は動詞「与ふ(あたえる)」。書き下し「天之を与ふ」=天がこれを与える。
- Q31. ▶ 答え：ア 「為」は動詞「なす・つくる・治む」。書き下し「学を為す」=学問をする。

- Q32. ▶ 答え：ア 「為」は動詞「なす・つくる・治む」。書き下し「之が名を為る」＝その名をつける。
- Q33. ▶ 答え：ア 「為」は動詞「なす・つくる・治む」。書き下し「善く国を為む」＝うまく国を治める。
- Q34. ▶ 答え：イ 「為」は断定の「たり」。書き下し「人の臣たり」＝人の臣下である。
- Q35. ▶ 答え：イ 「為」は断定の「たり」。書き下し「復た師たり」＝再び師である。
- Q36. ▶ 答え：ウ 「為」は「ために」(目的・利益)。書き下し「君の為に」＝主君のために。
- Q37. ▶ 答え：ウ 「為」は「ために」(目的・利益)。書き下し「民の為に」＝民のために。
- Q38. ▶ 答え：エ 「為」は受身「る・らる」(為～所)。書き下し「人の笑ふ所と為る」＝人に笑われる。
- Q39. ▶ 答え：エ 「為」は受身「る・らる」(為～所)。書き下し「敵の破る所と為る」＝敵に破られる。
- Q40. ▶ 答え：ア 「以」は手段・方法の「もって」。書き下し「刀を以て断つ」＝刀で断ち切る。
- Q41. ▶ 答え：ア 「以」は手段・方法の「もって」。書き下し「徳を以て治む」＝徳によって治める。
- Q42. ▶ 答え：ア 「以」は手段・方法の「もって」。書き下し「礼を以て事ふ」＝礼儀をもって仕える。
- Q43. ▶ 答え：ア 「以」は手段・方法の「もって」。書き下し「其の智を以て解く」＝その知恵を使って解決する。
(原因・理由の「以」はQ44「病を以て辞す」の形)
- Q44. ▶ 答え：イ 「以」は原因・理由の「～によって」。書き下し「病を以て辞す」＝病気を理由に辞退する。
- Q45. ▶ 答え：ア 「以」は手段・方法の「もって」。書き下し「力を以て争ふ」＝力づくで争う。
- Q46. ▶ 答え：ア 「所」は「～するところ(もの・こと)」。書き下し「見る所」＝見るもの・見た内容。
- Q47. ▶ 答え：ア 「所」は「～するところ(もの・こと)」。書き下し「聞く所」＝聞くもの・聞いた内容。
- Q48. ▶ 答え：ア 「所」は「～するところ(もの・こと)」。書き下し「欲する所」＝望むもの。
- Q49. ▶ 答え：ア 「所」は「～するところ(もの・こと)」。書き下し「学ぶ所」＝学ぶもの。
- Q50. ▶ 答え：イ 「所」は受身「～される」(為～所)。書き下し「人の殺す所と為る」＝人に殺される。
- Q51. ▶ 答え：イ 「所」は受身「～される」(為～所)。書き下し「世の用ゐる所と為る」＝世に用いられる。
- Q52. ▶ 答え：ア 「所」は「～するところ(もの・こと)」。書き下し「思ふ所」＝思うこと・思う内容。
- Q53. ▶ 答え：ア 「者」は「～する者・もの」。書き下し「仁者」＝思いやりのある人。
- Q54. ▶ 答え：ア 「者」は「～する者・もの」。書き下し「学ぶ者」＝学ぶ人。
- Q55. ▶ 答え：ア 「者」は「～する者・もの」。書き下し「勇者」＝勇気のある人。
- Q56. ▶ 答え：イ 「者」は提示の「～は」(主題を示す)。書き下し「兵は凶器」＝武器というものは不吉な道具。
- Q57. ▶ 答え：イ 「者」は提示の「～は」(主題を示す)。書き下し「良薬は口に苦し」＝良い薬は口に苦い。
- Q58. ▶ 答え：イ 「者」は提示の「～は」(主題を示す)。書き下し「知る者は言はず」＝分かっている者は言わない。
- Q59. ▶ 答え：ア 傍線部「之」は連体修飾の「の」(A之B=AのB)。「王の臣」＝王の家臣。
- Q60. ▶ 答え：イ 傍線部「之」は連体修飾の「の」(A之B=AのB)。書き下し「学問の道」。
- Q61. ▶ 答え：ウ 傍線部「之」は連体修飾の「の」(A之B=AのB)。「君子の徳」＝君子の徳。
- Q62. ▶ 答え：ア 傍線部「之」は連体修飾の「の」(A之B=AのB)。書き下し「父母の恩」。
- Q63. ▶ 答え：イ 傍線部「之」は連体修飾の「の」(A之B=AのB)。「天下の宝」＝天下の宝。
- Q64. ▶ 答え：ウ 傍線部「之」は代名詞「これ」(之を…)。書き下し「之を知る」。

- Q65. ▶ 答え：ア 傍線部「之」は代名詞「これ」(之を…)。「之を取る」=これを取る。
- Q66. ▶ 答え：イ 傍線部「之」は代名詞「これ」(之を…)。書き下し「之を愛す」。
- Q67. ▶ 答え：ウ 傍線部「之」は代名詞「これ」(之を…)。「之を求む」=これを求める。
- Q68. ▶ 答え：ア 傍線部「之」は代名詞「これ」(之を…)。書き下し「之を養ふ」。
- Q69. ▶ 答え：イ 傍線部「之」は主語・述語の間(訳さない・「が」)。「鳥の飛ぶ」=鳥が飛ぶ。
- Q70. ▶ 答え：ウ 傍線部「之」は主語・述語の間(訳さない・「が」)。書き下し「民の帰する」。
- Q71. ▶ 答え：ア 傍線部「之」は主語・述語の間(訳さない・「が」)。「水の流るる」=水が流れる。
- Q72. ▶ 答え：イ 傍線部「之」は主語・述語の間(訳さない・「が」)。書き下し「天の高き」。
- Q73. ▶ 答え：ウ 傍線部「之」は動詞「ゆく(行く)」。「斉に之く」=斉の国へ行く。
- Q74. ▶ 答え：ア 傍線部「之」は動詞「ゆく(行く)」。書き下し「楚に之く」。
- Q75. ▶ 答え：イ 傍線部「之」は動詞「ゆく(行く)」。「牛何くにか之く」=牛はどこへ行くのか。
- Q76. ▶ 答え：ウ 傍線部「也」は断定の「なり」。書き下し「是れ君子なり」。
- Q77. ▶ 答え：ア 傍線部「也」は断定の「なり」。「仁は人の心なり」=仁は人の心だ。
- Q78. ▶ 答え：イ 傍線部「也」は断定の「なり」。書き下し「是れ吾が罪なり」。
- Q79. ▶ 答え：ウ 傍線部「也」は断定の「なり」。「兵は凶器なり」=武器は不吉な道具だ。
- Q80. ▶ 答え：ア 傍線部「也」は疑問・反語の「や・か」。書き下し「子何をか為すや」。
- Q81. ▶ 答え：イ 傍線部「也」は疑問・反語の「や・か」。「是れ誰の過ちや」=これは誰の過ちか。
- Q82. ▶ 答え：ウ 傍線部「也」は疑問・反語の「や・か」。書き下し「何ぞ遅きや」。
- Q83. ▶ 答え：ア 傍線部「与」は並列の「と」(AとB)。「我と汝と」=私とあなた。
- Q84. ▶ 答え：イ 傍線部「与」は並列の「と」(AとB)。書き下し「父と子と」。
- Q85. ▶ 答え：ウ 傍線部「与」は並列の「と」(AとB)。「礼と楽と」=礼儀と音楽。
- Q86. ▶ 答え：ア 傍線部「与」は動詞「与ふ(あたえる)」。書き下し「之に金を与ふ」。
- Q87. ▶ 答え：イ 傍線部「与」は動詞「与ふ(あたえる)」。「民に与ふ」=民に与える。
- Q88. ▶ 答え：ウ 傍線部「与」は動詞「与ふ(あたえる)」。書き下し「天之を与ふ」。
- Q89. ▶ 答え：ア 傍線部「為」は動詞「なす・つくる・治む」。「学を為す」=学問をする。
- Q90. ▶ 答え：イ 傍線部「為」は動詞「なす・つくる・治む」。書き下し「之が名を為る」。
- Q91. ▶ 答え：ウ 傍線部「為」は動詞「なす・つくる・治む」。「善く国を為む」=うまく国を治める。
- Q92. ▶ 答え：ア 傍線部「為」は断定の「たり」。書き下し「人の臣たり」。
- Q93. ▶ 答え：イ 傍線部「為」は断定の「たり」。「復た師たり」=再び師である。
- Q94. ▶ 答え：ウ 傍線部「為」は「ために」(目的・利益)。書き下し「君の為に」。
- Q95. ▶ 答え：ア 傍線部「為」は「ために」(目的・利益)。「民の為に」=民のために。
- Q96. ▶ 答え：イ 傍線部「為」は受身「る・らる」(為～所)。書き下し「人の笑ふ所と為る」。
- Q97. ▶ 答え：ウ 傍線部「為」は受身「る・らる」(為～所)。「敵の破る所と為る」=敵に破られる。
- Q98. ▶ 答え：ア 傍線部「以」は手段・方法の「もって」。書き下し「刀を以て断つ」。

Q99. ▶ 答え：イ 傍線部「以」は手段・方法の「もって」。「徳を以て治む」＝徳によって治める。

Q100. ▶ 答え：ウ 傍線部「以」は手段・方法の「もって」。書き下し「礼を以て事ふ」。